

# 会 議 録

会議の名称	第3回鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会													
開催日	平成28年8月7日(日)													
開催時間	午後1時30分 開会・午後3時30分 閉会													
開催場所	鴻巣市役所 第二庁舎 2階 会議室													
議長(委員長・会長)氏名	会 長 矢 部 保 雄													
出席者(委員)氏名(出席者数)	矢部保雄(会長) 千葉一安(副会長) 秋葉寿美子 水野雅雄 奥木美恵子 菅間幸子 島村伸之 伊藤幸久 大原敏昭 武井浩之 佐藤芳隆 松谷裕美 <span style="float: right;">(12名)</span>													
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	新井聡恵 中田周誠 森田博子 <span style="float: right;">(3名)</span>													
事務局職員職氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育総務部長</td> <td style="width: 50%;">田中 潔</td> </tr> <tr> <td>教育総務部副部長兼教育総務課長</td> <td>村田弘一</td> </tr> <tr> <td>学校教育部副部長兼学務課長</td> <td>服部幸司</td> </tr> <tr> <td>教育総務課副参事</td> <td>川畷利徳</td> </tr> <tr> <td>教育総務課主幹</td> <td>鳥沢保行</td> </tr> <tr> <td>学務課主任</td> <td>新井哲弘</td> </tr> </table> <span style="float: right;">(6名)</span>		教育総務部長	田中 潔	教育総務部副部長兼教育総務課長	村田弘一	学校教育部副部長兼学務課長	服部幸司	教育総務課副参事	川畷利徳	教育総務課主幹	鳥沢保行	学務課主任	新井哲弘
教育総務部長	田中 潔													
教育総務部副部長兼教育総務課長	村田弘一													
学校教育部副部長兼学務課長	服部幸司													
教育総務課副参事	川畷利徳													
教育総務課主幹	鳥沢保行													
学務課主任	新井哲弘													
傍聴の可否(傍聴者数)	可(傍聴者12名)													
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 通学区域の見直しについて ・宮地一丁目の通学区域の見直し ・JR高崎線西側区域(栄町) (2) 小中一貫教育の推進について ・川里地域(屈巢小、共和小、広田小) (3) 小学校の適正配置について ① 鴻巣地域(笠原小、常光小、鴻巣中央小) ② 吹上地域(吹上小、小谷小、大芦小) (4) その他 4 閉会													

(1) 通学区域の見直しについて

◆ 宮地一丁目の通学区域の見直し  
(事務局説明)

- ・ 審議会から提出された中間答申を受け、8月21日鴻巣市立小中学校通学区域審議会へ「宮地一丁目の通学区域の見直しについて」の諮問をし、審議していく予定であるとの報告をする。

◆ JR 高崎線西側地区（栄町）の見直し  
(審議会委員の主な意見)

- ・ 子どもたちにとっては、交通環境の安全確保が重要であり、距離を考えれば鴻巣東小に近いが鉄道を越えることは、安全性に問題がある。
- ・ 上尾道路が開通することにより、歩道橋や横断歩道がどこに整備されるのかが確認できない現在の状況では審議できない。

(2) 小中一貫教育の推進について

◆ 川里地域（屈巢小、共和小、広田小）  
(審議会委員の主な意見)

- ・ 「現在、実践している小中連携は良いと思っているが、小学校が廃校になることには反対である。」という小中一貫教育推進連絡協議会委員や学校評議員の声を聴くと、保護者や住民へのアンケート調査、また意見交換会を実施することは、現段階では時期尚早である。
- ・ 屈巢小、広田小の児童数は増加しているが、共和小だけが減少している。統廃合は保護者からの声が出てくるのを待ってから進めるべきである。
- ・ 小中一貫教育の先進地を視察することも必要だと思う。

(3) 小学校の適正配置について

◆ 鴻巣地域（笠原小、常光小、鴻巣中央小）  
(審議会委員の主な意見)

- ・ 地元が実施したアンケート調査は年齢的に高齢の方の意見が多く、学校を残すか残さないかという二者択一のアンケートでは結果が自ずと分かってくる。学校が教育だけでなく地域のシンボルだからである。
- ・ 5年先10年先を考えて、より良い結果を導くようなアンケート調査をするべきである。保護者など若い世代の意見を聴くべきであり、その際に「笠原小が残ったときに、心配していることは何ですか？」といったことを聴きたい。
- ・ 常光小の保護者の間には、適正配置の話題は出ていない。笠原地域との温度差を感じる。
- ・ 中央小のPTAや保護者の一部には、いろいろな噂が出ている。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議の内容</p>	<p>◆ 吹上地域（吹上小、小谷小、大芦小） （審議会委員の主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北新宿土地区画整理地内や榎戸地区は人口が増えている。今後児童数も増加することも見込まれる。また、仮に大芦小や小谷小の児童を吹上小に変更することにより吹上小が 20 学級を越える大規模校になってしまう。</li> <li>・ 下忍小も児童数が増加していることを考えると、吹上地域全体を考え、中学校区を踏まえ検討していくべきである。</li> </ul> <p>（４） その他 （審議会委員の主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要望書を受けたが、すぐに回答できる内容ではないので、次回の中で、審議するべきである。</li> </ul>
<p>配布資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第 3 回 鴻巣市立小・中学校適正配置審議会 次第</li> <li>2. 資料 1 通学区域の見直し《栄町⇒鴻巣東小学校》</li> <li>3. 資料 2 川里地域（屈巢小・共和小・広田小）</li> <li>4. 資料 3 鴻巣地域（笠原小・常光小・鴻巣中央小）</li> <li>5. 資料 4 吹上地域（吹上小・小谷小・大芦小）</li> </ol>